



大阪市戦後70年 記念事業

～みて・きいて・つたえたい・へいわ～

あらためて考える 平和の大切さ

今年は戦後70年です。昭和20年8月15日に終結した第二次世界大戦は、数千万人の人々の生命を奪うとともに、多くの人々を不幸にしました。国内でも、広島や長崎に原爆が投下され、壊滅的な被害を受けました。

大阪大空襲を知っていますか?



▲心齋橋・島之内

▶道頓堀川



写真提供:なにわ堀江1500

大阪への空襲は昭和19年から始まり、大小合わせて50回を超える空襲が行われました。その中でもB29が100機以上に及び「大空襲」は8回を数えます。昭和20年3月13日深夜から14日未明にかけての第一次大阪大空襲などにより、約1万5000人もの方が犠牲となり、大阪の街は一面の廃墟と化しました。

| | 日時 | 来襲機数 | 被災戸数 | 被災者数 | 死者 |
|-----|-------------|----------------------|----------|----------|--------|
| 第一次 | 3月13日深夜～14日 | B29 274機 | 136,107戸 | 501,578人 | 3,987人 |
| 第二次 | 6月1日朝 | B29 458機 P51 少数 | 65,183戸 | 218,682人 | 3,112人 |
| 第三次 | 6月7日昼 | B29 409機 P51 138機 | 58,165戸 | 199,105人 | 2,759人 |
| 第四次 | 6月15日朝 | B29 444機 | 53,112戸 | 176,451人 | 477人 |
| 第五次 | 6月26日朝 | B29 173機 | 10,423戸 | 43,339人 | 681人 |
| 第六次 | 7月10日夜(未明) | B29 116機 | 16,488戸 | 65,825人 | 1,394人 |
| 第七次 | 7月24日朝 | B29 117機 | 893戸 | 3,503人 | 214人 |
| 第八次 | 8月14日昼 | B29 145機 小型機若干 | 1,843戸 | 2,967人 | 359人 |

体験談

6月7日の大空襲の時、私は十三に住む小学校6年生でした。その日のお昼、何百機ものB29が飛来し、大雨が降った時のようなザーツという音と共に、大量の焼夷弾が降り注ぎました。炎は地面を舐めるように這い、十三のまちは焼け野原となりました。未だにあの「ザーツ」という音が忘れられません。

牛島 淳勝さん(81才)



終戦から70年がたち、焼け野原となった街が復興・発展して活動力に満ちた街に生まれ変わりました。それと同時に、戦争を体験した世代が少なくなり、戦争を知らない世代が増えていきます。しかし、私たちは、戦争体験を風化させることなく戦争の悲惨さ、平和の尊さを将来にわたって語り継がなければなりません。

戦後70年という節目の年に、皆さんも、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、あらためて考えてみませんか。

淀川区の戦争の記憶を伝えたい ～パネル展&DVD作成～

淀川区では、戦後70年という節目に、戦争の記憶を次世代につなぐDVDの作成とパネル展を行います。DVDでは区内の戦争体験者の体験談などを紹介し、子ども達に平和や命の大切さを伝えます。詳細が決まれば、ホームページなどで紹介します(10月頃完成予定)。また、パネル展では空襲で焼けおちて廃校となった成小路国民学校の写真など、戦争時の大阪の様子をご覧ください。

◆区民ギャラリーパネル展

日時 8月7日(金)～8月18日(火) 場所 淀川区役所1階

問合せ 政策企画課5階51番 ☎6308-9404



編集後記

今回の取材の撮影が終わり、ふと横を見ると子どもさんがこちらをじっと見えています。どうしたのかな?と言いつつながら子どもに顔を近づけると、一所懸命手を伸ばし僕のヒゲを触って満面の笑みに。その笑顔に癒されると同時に、忘れていた子育てを始めた頃の気持ちが蘇りました。たまにはケーキでも買って帰ろうかな(広報担当)



広報誌の配布方法

区広報誌「よどマガ!」は、毎月1日から5日までの間に全戸配布でお届けしています。点字版や音訳版もあります。お問合せは、政策企画課(☎6308-9404)まで。ホームページでもご覧いただけます。

よどマガ

検索